

2022年度 川西市立清和台幼稚園評価報告書(保護者・職員アンケート)

実施時期: 令和5年2月21日～22日

対象: 保護者・教職員

* 園児数11 回収数10 職員数6 (Aそう思う Bややそう思う Cあまりそう思わない Dそう思わない)

内容	評価(保護者)				評価(職員)				・取り組みと成果 * 課題や改善方策
	A	B	C	D	A	B	C	D	
1 子供の人權を尊重し、一人一人の個性や発達に合わせた教育・保育をしている。	10				3	3			・複式学級になり、学年や個の育ちが保障できるよう、保育内容や環境の工夫をした。4、5歳児が同じ学級で過ごすことで、はじめは五分五分の関係になれず、対等に遊びにくかったり、本音を言い合えなかったりした関係性が、次第に互いのことがよく分かり、それぞれの得意なことを尊重し、刺激し合う関係性となった。教師の仲立ちで思いを言葉にして伝えることの必要性を促してきたことで、いい距離感での関係性の育ち(協力、支え合い、思いやりなど)が見られるようになった。
2 個人情報について保護や管理に努めている。	10				6				・子供の育ちが見られる時期は様々で、その子に応じた段階での成長した姿をどれだけ具体的に保護者へお伝えできていたかと感じているが、保護者の子育てや家庭での悩みに寄り添いながら、共に子育てをする仲間としてつながりを大切に、成長を喜び合うことができたことを嬉しく思う。今後もこのようなつながりを大切にしながら子供一人一人の個性を認め合い、成長を楽しみにできるような努めていきたい。
3 子供が自分なりに試したり工夫したりするなど、主体的に遊ぶ力を育てている。	10				6				・研究主題「夢中になって遊びを楽しむ幼児をめざして～やってみよう！面白い！と心が動く保育の振り返り～」とし、4、5歳児がそれぞれに気持ち、考え、「やってみよう」と心が動き、一人一人が思いや考えを言葉にして伝え合い、友達のことを自分のことのように考え、友達の考えを肯定的に受け止め、納得を積み重ねるやりとりを大切にしてきたことで、今では教師がいなくても自分で考えたことに責任をもち、ワクワク楽しめる子供の成長が見られるようになった。今年度は複式学級での教育的効果が感じられるよう職員一同努力をしたが、保護者からの感想カードでは園の願いを込めた教育への理解と育ちの喜びの意見が多く、感謝の気持ちでいっぱいである。これからも子供の『遊びは学び』の循環からの振り返りを大切に、資質向上に努めたい。
4 感想カードや懇談などで保護者の意見を聞き、改善に努めている。	10				6				・コロナ禍でも友達と楽しく会食ができるように、机やパーテーションの配置を工夫し、食材の栄養やつくってくれた人への感謝の気持ちがもてるような言葉掛けを心掛けた。また畑やプランターで様々な栽培物を育て、収穫したものを家庭に持ち帰るなどし、親子で食育が感じられるような工夫をした。小学校の協力による子供や親子での給食体験も実現でき、あらゆる体験を通した食育について、これからも工夫していきたい。
5 生活の中での食育を通して楽しく食べる子供に成長していくよう取り組んでいる。	8	2			5	1			・コロナ禍での生活スタイルを確立するために、職員全員で環境の再構成しながら消毒作業や点検などを行った。また、職員数が少なく、複式学級ということでも、出張など職員数不在を想定した災害時の訓練を実施し、協力体制の強化を感じていただけたことを有難く思う。今年度の学びを次年度にもつなげていきたい。
6 感染症予防のために園内の消毒や生活の配慮に努めたり、保健だよりなどで健康に関する情報を知らせたりしている。	10				6				* 園内の施設・遊具の点検をしながら少人数保育に適した保育環境での活用方法を検討し、草引きでは職員数が少ないことから保護者会の協力も得ながら少しずつ作業を重ね、シートを敷くなど工夫をしてきた。職員数に見合った園の維持管理における課題は大きく、今後も引き続き工夫をした取り組みが必要である。
7 避難訓練や交通安全指導などを通して、子供が自ら身を守ることができるように努めている。(交通安全指導年3回、火災・地震時避難訓練や消防署指導訓練実施)	10				6				・小学校と給食体験や授業見学などに行き、授業中に園児が手を挙げて発表をする機会もあった。また職員間では1年生の授業を見て、幼小接続における育ちの共有をさせていただいた。地域での文化祭出演や公民館の図書館訪問などコロナ禍の状況を見て少しずつ活動が増え、他の就学前施設(市立こども園、幼稚園)との交流も実現した。いろいろな人と過ごす喜びを感じることができるよう工夫していきたい。
8 子供が安全に過ごせるように環境が整備されている。(月1回安全点検実施)	10				6				・小学校と給食体験や授業見学などに行き、授業中に園児が手を挙げて発表をする機会もあった。また職員間では1年生の授業を見て、幼小接続における育ちの共有をさせていただいた。地域での文化祭出演や公民館の図書館訪問などコロナ禍の状況を見て少しずつ活動が増え、他の就学前施設(市立こども園、幼稚園)との交流も実現した。いろいろな人と過ごす喜びを感じることができるよう工夫していきたい。
9 小学校や地域、他の就学前施設などと交流をしている。(感染症拡大防止への配慮や各校園の実施状況により変更あり)	10				5	1			・小学校と給食体験や授業見学などに行き、授業中に園児が手を挙げて発表をする機会もあった。また職員間では1年生の授業を見て、幼小接続における育ちの共有をさせていただいた。地域での文化祭出演や公民館の図書館訪問などコロナ禍の状況を見て少しずつ活動が増え、他の就学前施設(市立こども園、幼稚園)との交流も実現した。いろいろな人と過ごす喜びを感じることができるよう工夫していきたい。
10 子供の成長や子育てについて気軽に相談できる。	9	1			6				・登降園時には保護者へ子供の様子を具体的に伝え、何より直接保護者と会話で盛りあがるのが嬉しく、子育てをする仲間としての喜びを感じていた。また、保育の記録写真載せたクラスだよりやホームページの掲示など視覚的な工夫を心掛けた。これからも保護者とのつながりを大切にしていきたいと感じる。
11 子供の成長や園生活の様子を分かりやすく伝えている。(降園時・園だより・クラスだより・ホームページ・個人懇談・学級懇談など)	10				6				・コロナ禍でまだまだ状況に応じた工夫をしながらの取り組みであったが、行事など全てにおいてご理解、ご協力をいただき、楽しい経験を積み重ねることができた。これも保護者会を中心とした協力体制と地域の励ましと支えが大きかったと感じている。これからも『出会い・つながり・ありがとう』の気持ちを大切に取り組んでいきたい。
12 感染拡大防止に努めながら、行事や学級懇談など、保護者同士のつながりや子育てのサポートを大切にしている。	10				5	1			・登降園時には保護者へ子供の様子を具体的に伝え、何より直接保護者と会話で盛りあがるのが嬉しく、子育てをする仲間としての喜びを感じていた。また、保育の記録写真載せたクラスだよりやホームページの掲示など視覚的な工夫を心掛けた。これからも保護者とのつながりを大切にしていきたいと感じる。
13 【その他、お気づきの点などがありましたらご記入ください】 ・子供一人一人を大切に育んでいただいていると思います。 ・園長先生、担任の先生方、日々子供たちにしっかり向き合い、保育をしてくださっています。保護者からの気軽に声掛けができる雰囲気もあり、楽しい幼稚園生活を親子共に送っています。公立幼稚園の良さ、必要性を少人数だからとなく、今後にもつなげてほしいです。									・清和台幼稚園は、今年度複式学級としての運営に取り組んだが、保護者や地域の皆様にはいつも複式学級で見られる同年齢の教育プラスαの教育的効果や教育内容の面白さを感じていただき、園としても子供たちからたくさんのご意見をいただくことができた。これからも今まで得た学びをいかして努めていきたい。